



研究トピックス

現代日本における性的マイノリティ／LGBT に対する社会意識に関する研究、クィアをめぐる表象文化に関する社会学的研究

専門分野

ジェンダー／セクシュアリティ研究、LGBTQ+研究、クィア研究、社会学

河口 和也 KAWAGUCHI Kazuya

教員情報 <https://shu-lab.shudo-u.ac.jp/shuhp/KgApp?kyoinId=yomisgoygyggy>

研究概要

近年、日本社会においても性の多様性や性的マイノリティに関する注目がなされるようになってきました。そうしたなかで、これまでは日本社会における性的マイノリティ／LGBTQ+に対する社会意識の研究を行ってきました。科学研究の研究チームの研究代表者として 2015 年、2019 年に全国を対象に社会意識を把握する大規模調査を行い、基礎的なデータを作成しました。これらの研究成果は、行政・教育・報道等で活用されています。

個人としては、社会学／クィア研究という領域のなかで、メディアにおいて性的マイノリティがどのように表象されてきたか／表象されているかの研究を行ってきました。とくに、テレビ／映画を中心に、そこに表れるセクシュアリティの表象や性的マイノリティの表象を考察する研究を行っています。また、近年は大都市ではない地域、いわゆる地方都市に生活する性的マイノリティの生活実態や直面する諸問題についての研究も行っています。

研究シーズの応用

2023 年 6 月に成立した LGBT 理解増進法では、行政・企業・学校等に対して性的マイノリティに対する様々な配慮・支援や相談対応等を推進していくことが明記されています。また、実際に、社会においてもダイバーシティの観点から、様々な領域で施策を実施することが要請されるようになってきました。

性的マイノリティに対する意識調査や生活実態の調査に関する成果を基盤にして、行政や企業・学校等における LGBTQ+ に対応するための様々な調査企画や実際の対応・支援の方法についてのアドバイス提供で協力することは可能です。これまでも企業や教育現場、行政に対する研修等では協力関係を構築してきました。

キーワード

LGBTQ+、人権、ダイバーシティ／エクイティ／インクルージョン



研究トピックス

高齢者の栄養管理と食形態の調整や調理の工夫

専門分野

臨床栄養学 給食経営管理

栢下 淳子 Kayashita Atsuko

教員情報 <https://shu-lab.shudo-u.ac.jp/shuhp/KgApp?kyoinId=ymidygymggy>

研究概要

疾病者に対する栄養管理

嚥下障害者に対する食形態の調整や調理の工夫

高齢者のフレイル，サルコペニア予防の提案

研究シーズの応用

嚥下調整食市販食品の評価を実施し，よりおいしく安全なものを提案

キーワード

嚥下調整食 低栄養 嚥下障害



研究トピックス

食で育む毎日の健康

専門分野

公衆栄養学 栄養疫学 公衆衛生学

木村 安美 Kimura Yasumi

教員情報 <https://shu-lab.shudo-u.ac.jp/shuhp/KgApp?kyoinId=ymiogooiggy>

研究概要

病気を予防し健康な毎日を送るために食事はとても大切です。

これまで「シニア世代が住み慣れた地域で長くいきいきと暮らすための食事とは？」

をテーマとして研究を行って来ました。

具体的には、

1. 病気を予防するための食事要因の栄養疫学的解析を行っています。
2. フレイル、サルコペニア、ロコモティブシンドローム、認知症を予防する食事の検討、自宅で簡単に作ることができるレシピの提案、レシピ動画の作成を行っています。
3. 住み慣れた地域で自立した生活を送るために不可欠な食料品の買い物状況と栄養摂取について調査し、地方自治体と連携し健康教室における調理実習献立の立案と栄養教育を行っています。

研究シーズの応用

単なるレシピの提案ではなく、栄養疫学をベースとした食事調査や科学的なエビデンスに基づく住民の皆様役に役立つ情報の発信を行いたいと考えています。

キーワード

フレイル サルコペニア、地域住民、食事 健康づくり



研究トピックス

現代の倫理的課題、現代社会の倫理教育の在り方の探究

専門分野

哲学、倫理学、倫理教育論

嶋崎 太一 SHIMAZAKI Taichi

教員情報 <https://shu-lab.shudo-u.ac.jp/shuhp/KgApp?kyoinId=ymbdgdgyiggy>

研究概要

哲学・倫理学を専門とし、特にニュートンとカントの自然哲学の文献学的研究を主として行ってきました。同時に生命倫理や科学技術倫理など現代倫理学についても調査・検討しています。特に、今日のAI技術やロボット技術の倫理的課題に関心を持っています。

また、高等学校教員、高等専門学校教員の経験を踏まえ、学校教育の倫理的課題についても追究しているほか、公民科「倫理」教育の方法や専門職倫理教育の在り方についても検討を続けています。

研究シーズの応用

哲学・倫理学の研究者ですが、高等学校の教材や大学の教育学のテキストの分担執筆も経験し、学校教育の課題などについても関心をもっています。

さしあたり以下のような点を対応可能領域としています。

- 1 生命倫理・医療倫理、AIの倫理などについての相談
- 2 教育の倫理、倫理の教育についての相談
- 3 哲学に関連する文献や資料の調査

キーワード

現代社会の倫理、教育倫理、倫理教育



研究トピックス

地域住民参加型の新しい民主主義のかたち

専門分野

政治学 政治理論 民主主義論

小須田 翔 KOSUDA Sho

教員情報 <https://shu-lab.shudo-u.ac.jp/shuhp/KgApp?kyoinId=ymbkgdgeggy>

研究概要

民主主義、とくに熟議民主主義を研究の対象としています。なぜ熟議民主主義がよいのか、どのような熟議の形態がありうるかといった理論的なことや、市民の方々が集まって話し合いをする中で、男性と女性との間のばらつきや集団の極化現象などが生じることの問題性についても関心があります。

主な研究手法は政治理論です。政治理論では、正義・自由・平等・民主主義といった抽象的な概念を哲学的に分析します。この分析を通して、ジェンダー不平等、差別、格差、移民排斥、環境破壊などがなぜ問題なのかについての知見を得ることができます。

研究シーズの応用

1. 主に民主主義や熟議民主主義について研究してきたことから、それに関する「ミニ・パブリックス」や「くじ引き民主主義」についての知見を共有することができます。新たな市民参加の方法として参加型予算や住民討議会、気候市民会議などの運営に参画することもできます。
2. 政治理論・政治哲学の知見を提供することができます。フェミニズム、構造的不正義、差別、経済的格差などの問題を、理論的な観点からご紹介します。

キーワード

市民参加、ミニ・パブリックス、熟議民主主義